

報道関係者各位

2007年8月3日  
株式会社ジャパン通信社  
株式会社ワイズワークスプロジェクト  
ニホンモニター株式会社

## マー君、祐ちゃんに及ばず 27 億円

～2007 ガリバーオールスターゲーム編

広告効果第 4 弾～

新聞・雑誌合計 2,000 媒体の調査/分析を行っている株式会社ジャパン通信社（東京都中央区、代表取締役社長：鈴木和夫）、インターネット情報の調査/分析を行う株式会社ワイズワークスプロジェクト（東京都台東区、代表取締役社長：鍋島日之樹）、TV 放送の総合調査/分析を行うニホンモニター株式会社（東京都港区、代表取締役社長：葦沢美樹）の 3 社は共同で、広告効果測定第 4 弾として『2007 ガリバーオールスターゲーム』における田中将大投手（東北楽天イーグルス）のメディア露出広告効果測定を行った。

昨年の夏の甲子園で日本中を熱狂させた死闘から約 1 年。新人ながらファン投票 1 位で選出された田中将大投手に注目してみました。調査はオールスター出場発表報道からオールスターでの登板報道までの期間で広告費用換算金額は 27 億 2418 万 8002 円となった。

内訳は、新聞・雑誌で 13 億 5213 万 4248 円、WEB 1 億 5097 万 600 円、TV 12 億 2108 万 3154 円となっている。（表 1 参照）

表 1

	調査期間	新聞・雑誌	TV	WEB
斉藤祐樹①	7 日	1,628,581,796	-	-
斉藤祐樹②	11 日	2,144,997,527	7,755,750,319	357,588,000
MLB オールスター	11 日	2,661,710,634	7,431,579,036	413,047,800
ガリバーオールスターゲーム	21 日	1,352,134,248	1,221,083,154	150,970,600

※ 斉藤祐樹①は『全日本大学野球選手権大会』 ②は『日米大学野球選手権大会』  
の換算金額

## 日程にも負けた！？

レッドソックスで大活躍の松坂大輔投手以来の高卒ルーキーファン投票 1 位での選出、地元・フルキャストスタジアム宮城での「オールスターゲーム」(7/21)先発投手を任される等、話題は豊富であった田中将大投手だが 2 イニング 6 失点で負け投手となり、以前調査した斉藤祐樹投手『全日本大学野球選手権大会』、『日米大学野球選手権』の広告費用換算金額を大幅に下回る結果となった。(表 1 参照)

要因として、

### ① 負け投手

2 イニング 6 失点で負け投手になり、インパクトを残すことができなかった。

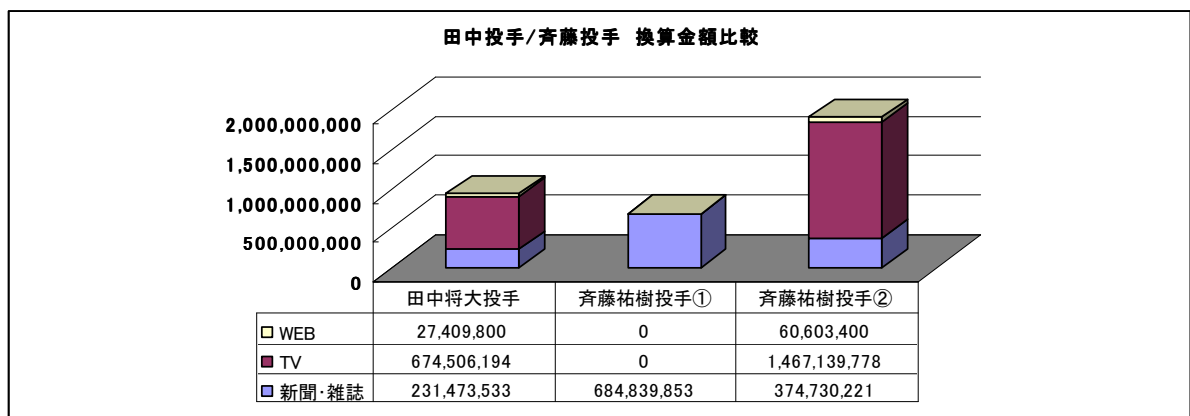
### ② サッカー日本代表

同日に『アジアカップ/日本 VS オーストラリア』の試合が行われ、日本がオーストラリアを延長の末 PK 戦で劇的な勝利を収めた。翌日のスポーツ新聞各紙ともサッカー日本代表を大きく取り上げた影響もある。7 月 22 日付けの東京発行のスポーツ紙 6 紙のうち 5 紙でサッカー日本代表の記事が一面を占めていた。

### ③ TV での露出

オールスター出場発表報道、登板当日の TV での露出は高かったのだが、それ以外での TV 露出が低かった。(表 2)

表 2



※田中将大投手はオールスター登板報道(7/22)

斉藤祐樹投手①は『全日本大学選手権大会』決勝登板報道(6/18) ※新聞・雑誌のみの調査

斉藤祐樹投手②は『日米大学野球選手権大会』優勝決定報道(7/9)

『概要』

調査対象案件 『2007 ガリバーオールスターゲーム』のメディア露出広告効果測定

調査対象期間 7/3～7/22 (新聞・雑誌)

7/2～7/22 (WEB)

7/2～7/22 (TV)

調査対象媒体 全国紙 23紙 279版(東京本紙5紙,地方本紙18紙,,地方版279版)

スポーツ紙 27紙

地方紙 107紙

その他の新聞 429紙

雑誌 1,135誌

WEB 国内主要ニュースサイト：600サイト

TV 東京キー局 6局(NHK、NTV、TBS、CX、EX、TX)